

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター

NSF、CNH プログラムの下で研究プロジェクト16件に総額2,040万ドルを助成（9月11日）

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) は9月11日、NSFの自然・人的システム結合ダイナミクス (Dynamics of Coupled Natural and Human Systems : CNH) プログラムの下で総額2,040万ドルの助成を受給する研究プロジェクト16件を発表した。CNH プログラムは、NSF の生物科学局 (Directorate for Biological Sciences : BIO) 、地球科学局 (Directorate for Geosciences : GEO) 、及び社会・行動・経済科学局 (Directorate for Social, Behavioral & Economic Sciences : SBE) が共同で資金を拠出している。今回助成を受給するのは、ミシガン州立大学 (Michigan State University) が主導する、農業生態系における捕食動物による作物の損失削減への貢献に関する研究を含む16件で、これらの研究では、①熱帯雨林におけるコミュニティ管理、②都市型地形における生態系サービスと水資源管理との繋がり、③結合システムとしての人間と野生生物、④保全軽減による社会的・環境的因果関係、⑤アラスカ遠隔地における自給自足生活の変化、などのテーマの下で、都市・山岳部・草原・森林などといった条件下での環境プロセスに対応する方法を検証することになる。

National Science Foundation, NSF awards \$20.4 million for research on how humans, environment interact

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=136047&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click